

【実証①：定時定路型(島民の移動)】

実証内容	運行ルートを1日7回走行。 停留所の他、ルート上で手を上げてもらえば乗車でき、停留所以外で降車することも可能
期間	7月12日～8月9日の月・火・水・金
乗車人数	延べ464名(島民447名、島民以外17名)

【実証②：予約型(観光客の移動)】

実証内容	実証①の定時定路線走行の間の時間を利用して走行。当日、電話での予約も可。土日は、予約がなければ、船が来る時間に港へ行き、乗車を呼びかける。
期間	7月12日～8月9日の実証①が運行していない時(木・土・日も含む)
乗車人数	延べ115名

【実証③：予約型(島民の移動)】

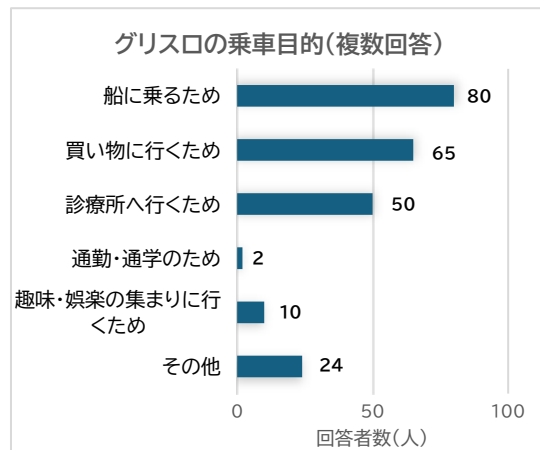
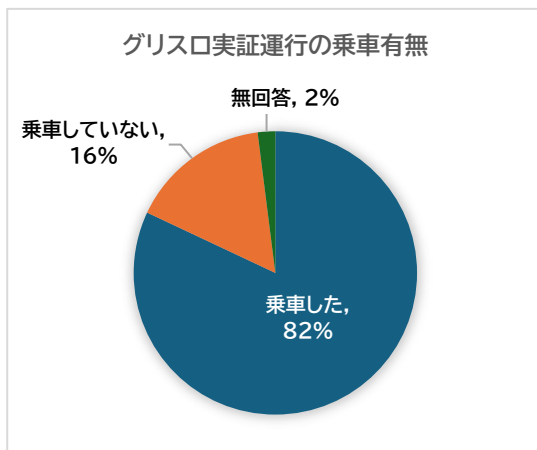
実証内容	実証①の定時定路線走行の間の時間を利用して走行。当日、電話での予約も可。
期間	7月12日～8月9日の実証①が運行していない時(木・土・日も含む)
乗車人数	延べ613名

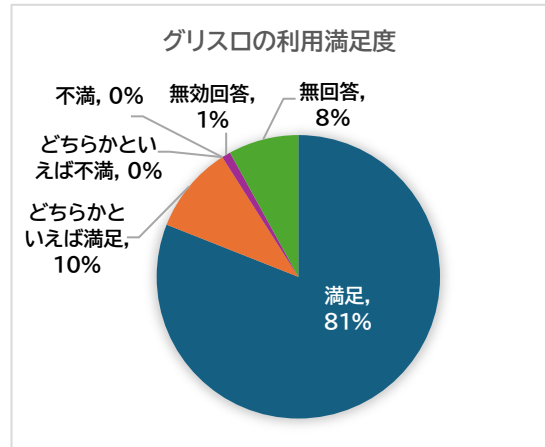
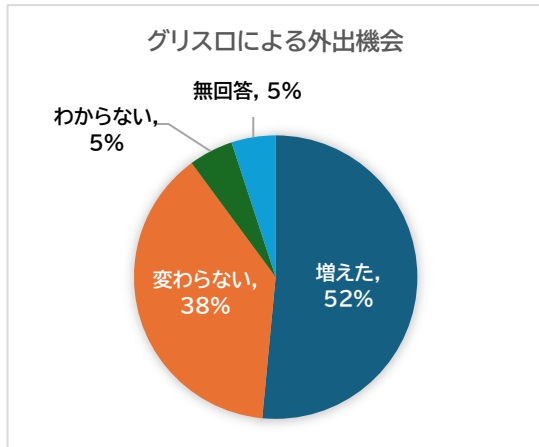
【実証④：体験試乗会】

目的	島民のグリスロへの理解度向上を目的に実施。運転手が島民に声をかけ乗車を促す。島民の要望に合わせて運行。
期間	7月10日～11日
乗車人数	延べ76名

4. アンケート調査結果概要(島内の移動状況やグリスロに関する利用状況・ニーズ等の調査)

<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法:津久見市保戸島の全世帯にアンケート調査票を配布・回収 ・配布数:270 世帯 ・有効回答数:177 票(回収率 65.6%)
--





5. グリスロの今後の課題

グリスロ導入の必要性についてのアンケート調査結果では、「必要だと思う」94%、「必要だと思わない」4%で必要と考える回答者が非常に多かったが、導入に際し、下記の課題があげられる。

- ・運転手(島内で運転免許を持っている方へ声をかける)を探す
- ・運営主体(島内の団体か区会長か)の検討
- ・導入、運行に係る経費の補助金がないか調べる

<試走・実証調査の様子>

